

定例公安委員会の開催状況について

令和6年9月5日に定例山形県公安委員会が開催されました。議事の概要は次のとおりでした。

1 定例会報告事項

(1) 令和6年度9月補正予算案の概要について

令和6年度9月補正予算案の概要について報告があった。

委員から、殉職事案の教訓を基に迅速に予算要求しており評価できる旨、また、必要などころに予算措置ができるよう、来年度に向けても検討していただきたい旨の発言があった。

委員から、ライフジャケット等ほどの程度整備する予定なのか旨の質問があり、警務部長から、署外で活動する可能性のある警察官全体に行き渡るような数を想定して要求している旨の説明があった。また、委員から予算が確保されたら、配備する場所にも目を向けて検討していただきたい旨の発言があり、本部長から、交番、駐在所に勤務している警察官の身を守るため常備し、警察車両には原則積載したいと考えており、具体的な運用は今後検討していきたい旨の説明があった。

委員から、災害対応に伴う補正予算の議決後は、職員の安全を守ることを目的として、資機材の整備や運用方法を検討していただきたい旨の発言があった。

(2) 新築駐在所の完成について（酒田警察署平田駐在所）

新築駐在所の完成について報告があった。

委員から、新築を契機として、更に地域に根ざした駐在所になるように取り組んでいただきたい旨の発言があった。

委員から、強化されたセキュリティ面を含め視察させていただきたい旨の発言があった。

委員から、新しい施設で地域の安全安心を守るために取り組んでいただきたい旨の発言があった。

(3) 令和6年度「明るいやまがた」夏の安全県民運動の実施結果について

令和6年度「明るいやまがた」夏の安全県民運動の実施結果について報告があった。

委員から、この夏の県民運動では、どのような交通事故防止対策に取り組んだのか旨の質問があり、交通部長から、スピードを落として安全運転をしていただくという目的で幹線道路における速度取締りを強化し、事故発生が多い時間帯等にパトカーによる街頭活動を展開するなど、交通事故防止に資する取組を最大限に行った旨説明した。

委員から、夏休みの学童保育所を利用する児童に対する非行防止教室というのは効果が期待できることから、今度も継続して働きかけを行っていただきたい旨の発言があった。

委員から、交通事故により4人死亡したのは残念であり、この事故についてもしっかりと分析し、今後の事故防止に繋げていただきたい旨の発言があった。

(4) 令和6年度山形県・長井市合同総合防災訓練への参加（予定）について

令和6年度山形県・長井市合同総合防災訓練への参加（予定）について報告が

あった。

委員から、日本国内いつ、どこで、どういう災害が発生しても対応できるように、緊張感を持って防災訓練に臨んでいただきたい旨の発言があった。

委員から、各市町村担当者との協力関係を確認し防災意識を高めていただきたい旨の発言があった。

委員から、各種訓練によって、技術、知識、体力向上に努めていただきたい旨の発言があった。

2 個別審議等会議

○ 運転免許行政処分審査

警察本部から、運転免許の取消処分に係る意見の聴取、聴聞結果について説明を受け、決定した。

○ 公安委員会宛て苦情の受理等について

警察本部から、公安委員会宛て苦情の受理等について説明を受け、決裁した。

○ 警察庁長官の災害現場視察に係る報告について

警察本部から、警察庁長官の災害現場視察の状況について報告があった。

○ 交通事故統計について

警察本部から、交通事故統計について報告があった。

○ Σ (シグマ) プロジェクトについて

警察本部から、 Σ プロジェクトの進捗について報告があった。

○ 人事評価に係る自己申告

警察本部から、人事評価に係る自己申告があった。